

**製品名: カルレティキュリン (3B4) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe07875**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CALR
別名	CALR; CRT; FLJ26680; RO; SSA; cC1Qr; CRP55; CRTC; HACBP;
遺伝子 ID	811.0
SwissProt ID	P27797
免疫原	ヒトカルレティキュリンの合成ペプチド

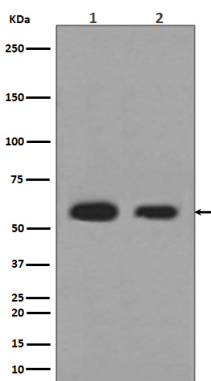
**背景**

カルシウムは、細胞運動、代謝、タンパク質修飾、タンパク質フォールディング、アポトーシスなど、多くの細胞機能に関与する普遍的なシグナル分子です。カルシウムは小胞体（ER）に蓄えられ、カルネキシンやカルレティキュリンなどのカルシウム結合シャペロンによって緩衝され、IP3 受容体を介して放出されます。カルレティキュリン/カルネキシンサイクルを介して、小胞体（ER）におけるフォールディング、オリゴマー形成、品質管理を促進するカルシウム結合シャペロンです。このレクチンは、ER で合成されるほぼすべてのモノグルコシル化糖タンパク質と一時的に相互作用します（PubMed:7876246）。NR3C1 の DNA 結合ドメインと相互作用し、その核外輸送を媒介します（PubMed:11149926）。母性遺伝子発現制御に関与しています。カルシウム恒常性の調節を介して卵母細胞成熟に関与する可能性がある（類似性による）。非活性化卵母細胞では表層顆粒に存在し、卵母細胞活性化に対する表層反応の際に細胞外に排出され、多精子受精の阻害に関与する可能性がある（類似性による）。

## 研究分野

タグと細胞マーカー; 細胞内マーカー; オルガネラ; ER

## 画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) HepG2 細胞溶解物におけるカルレティキュリン発現のウエスタンブロット解析。